

| 病日 | 入院～ | 手術前日 | 手術当日（術前） |
|-------|---|--------------------------|--|
| 安静 | ベッド上の安静になります 痛みにあわせてベッドをあげることはできます | | |
| 観察 | 全身状態・患部の状態を観察します | | |
| 食事 | 普通食または治療食が提供されます。 | 21時以降飲食は禁止になります | |
| 清潔 | 看護師の介助で身体を拭いていきます | | |
| 排泄 | ベッド上で排泄します | 夕食後、浣腸を行います | |
| 処置・診察 | 牽引を行います（医師の指示がある場合） 下肢に血栓予防の機械またはストッキングをはきます | | |
| | | 爪切りを行います | |
| リハビリ | 理学療法士によるリハビリを行います | | |
| 検査 | | | |
| 薬物療法 | 持参薬の確認をします 痛みに合わせて鎮痛剤が処方されます。 | | 指示がある場合、少量の水で内服します 午後の手術の場合、持続点滴を行います |
| | 痛みにあわせて鎮痛剤を使用することができます | | |
| 説明 | 看護師より入院について、パスについて説明があります | 看護師より手術前後の注意点について説明があります | |
| | 医師より手術について説明があります | | |
| 指導 | 看護師より血栓のリスク・予防について説明があります 薬剤師より薬について説明があります（週1回） | | |
| 目標 | 1 体調を整え手術に臨める 2 腓骨神経麻痺を起こさない | | |

症状、経過によっては予定通りにならない場合があります

| 病日 | 手術当日（術後） | 1日目 | 2日目 |
|-------|--|---|---------------------|
| 安静 | ベッド上の安静になります | 車椅子に乗ることができます 痛みにあわせて手術をした足に体重をかけてもかまいません | |
| 観察 | 全身状態・患部の状態・出血の状態を観察します | | |
| 食事 | おなかの動きが確認できたら 飲水することができます | 朝食より再開します | |
| 清潔 | | 看護師が介助して身体を拭きます | |
| 排泄 | 尿の管が入ってきます | 全身状態をみながら尿の管は抜いていきます 車椅子に乗れたらトイレに行くことができます | |
| 処置・診察 | 下肢に血栓予防の機械をつけます | 下肢に血栓予防のストッキングをはきます 患部の状態に合わせて消毒をします | |
| リハビリ | | 病棟でのリハビリがあります | リハビリ室・病棟でのリハビリがあります |
| 検査 | | 採血があります | |
| 薬物療法 | 持続点滴を行います 抗生剤の点滴を1回行います | 持続点滴を行います 抗生剤の点滴を1回行います | |
| | 痛みにあわせて鎮痛剤を使用することができます | | |
| 説明 | 看護師より手術後の注意点について説明があります | | |
| 指導 | | | |
| 目標 | 3 疼痛のコントロールができる 4 腓骨神経麻痺を起こさない 5 創感染を起こさない | | |
| | | 6 活動範囲が拡大する | |

症状、経過によっては予定通りにならない場合があります

| | | |
|-------|---|-----------------------------|
| 病日 | 3日目～10日目 | 11日目～14日目（退院） |
| 安静 | 車椅子に乗ることができます 痛みにあわせて手術をした足に体重をかけてもかまいません | |
| 観察 | 全身状態・患部の状態・出血の状態を観察します | |
| 食事 | 普通食または治療食が提供されます。 | |
| 清潔 | 抜糸するまでは患部を保護してシャワーに入ります 抜糸後は保護なしでシャワーに入ります | |
| 排泄 | トイレに行くことができます | |
| 処置・診察 | 患部の状態に応じて消毒・抜糸を行います 抜糸は7～10日目 | |
| | 下肢に血栓予防のストッキングをはきます | |
| リハビリ | リハビリ室・病棟でのリハビリがあります | |
| 検査 | 採血・レントゲンを行います（7日目・12日目） 下肢のエコー検査を行います（4日目・11日目） | |
| 薬物療法 | 痛みにあわせて鎮痛剤を使用することができます | |
| 説明 | 転院先に診療情報提供書をFAXします（5日目） | |
| 指導 | | |
| 目標 | 3 疼痛のコントロールができる 4 創感染を起こさない 5 腓骨神経麻痺をおこさない 6 活動範囲が拡大する | 7 重度貧血がない 8 疼痛コントロールができる |

症状、経過によっては予定通りにならない場合があります